

スクリーン印刷、コンデンサ技術解説

京都実装技術研究会では、本年度第4回例会を開催します。

前半はハンダペースト印刷に使用される製品を造られている中沼アートスクリーンの長田英也様にメタルマスク、スクリーンマスク、それらを用いた印刷物についてご講演いただきます。

メタルマスクに関しては、開口部壁面の平滑性を実現しつつ従来と変わらない短納期・低価格を実現させた技術や、壁面の平滑性や表面加工を行うことによるハンダペーストの抜け性・印刷性の違いを、スクリーンマスクに関しては、超細線印刷を実現したスクリーン印刷技術、スクリーン工法を用いた新しい加飾表現技術『ガラリット』などについて解説していただきます。

後半ではNPO法人サーキットネットワーク理事の梶田栄様にご講演いただきます。

電子部品というと半導体がすぐ頭に浮かぶことと思いますが、実は一般的には半導体は電子デバイスと呼ばれており、電子部品はLCR（コイル、コンデンサ、抵抗）など受動部品を指しています。

あまり目立つことのない受動部品ですが、スマホの中には一千個弱の、ハイエンドの電気自動車には一万個程度の受動部品が搭載されており、その殆どはコンデンサです。

コンデンサは地味な部品ですが無かったらほとんどの機械類は機能しない世の中になっています。なぜコンデンサが必要なのか、電気の知識を交えながら、コンデンサの機能とその種類、製造方法及び用いるときの注意点などを解説いただきます。

- ◇日 時 令和元年11月14日（木） 13:30～16:30
- ◇場 所 京都府産業支援センター（京都府中小企業技術センター）5階 研修室
- ◇内 容 ①「メタルマスクおよびスクリーンマスクについての技術」
中沼アートスクリーン株式会社 技術開発室 長田 英也 氏
- ②「たかがコンデンサ、されどコンデンサ
～基本機能から実装上の注意点まで～」
NPO法人サーキットネットワーク 理事 梶田 栄 氏
- ◇定 員 60名（先着順・定員になり次第、締め切らせて頂きます。）
※定員を超えた場合のみ連絡します。申込を受付けた際、特に連絡しませんので、当日お越しく下さい。
- ◇参加費 会員：無料 非会員：10,000円/人（当日支払い）
- ◇申込締切日 令和元年11月11日（月）
- ◇問合せ先 京都府中小企業技術センター 応用技術課 電気・電子担当
（京都実装技術研究会事務局）
TEL 075-315-8634 FAX 075-315-9497
E-mail jisso@kptc.jp
〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町 134
- ◇申込先 同上（できる限りメールでお願いします。）

京都府中小企業技術センター 応用技術課 電気・電子担当 宛

E-mail (iisso@kptc.jp) FAX 075-315-9497

お申し込みは、できる限りE-mailでお願いします。

京都実装技術研究会 令和元年度 第4回例会		
会社名		
連絡 担当者	所属	
	氏名	
	E-mail	
	電話番号	
参加者	所属	氏名

※ 申込書にご記入いただいた個人情報は、本研究会受講者名簿として利用します
また、講演内容調整のため会社名および所属情報のみ講演者に提供します

メールセキュリティなどの理由により、添付ファイルが送りにくい場合は、各項目をメール本文に記載頂いても結構です。